



会報

だいでん 大山恵みの里

daisen-megumi-no-sato



第6号



道の駅が リニューアル オープン



国土交通省が整備を進めていた道路情報提供施設と24時間利用できる公衆用トイレが道の駅に完成しました。その完成を祝って、小春日和の11月22日(土)、道の駅大山恵みの里でリニューアルオープンイベント「軽トラ市」を開催しました。

生産者有志が朝採れの新鮮野菜や果物を軽トラで持ち込み、対面販売で来場者とふれあいました。

また、大山町青年団による餅つきのパフォーマンスやつきたて餅の振る舞いは、行列ができるほどのにぎわいでした。

【部会等活動状況】

12月22日(月)、生産者協議会(構成メンバーは各部会の部長、副部長)を開催し、本年度の活動状況や課題、部会同士、公社との連携方策について意見交換を行いました。

【穀物部会】 グループ化した特裁米、大豆の生産拡大、選別基準等ルールづくり、販路確保に向け取り組みを進めていく。

【加工品部会】 ふるさと納税等加工品の需要は増えている。加工品の販売拡大のためにも定期的に講習会等を実施し、消費者に安全・安心を提供していかねければならない。

【果樹部会】 梨等の販売拡大のため、公社の直接買い取りを推進する。購買意欲をそそるパッケージデザイン等研修を予定。

【花卉部会】 公社の販売計画にも役立つので、会員向けの野菜苗の受注生産を検討する。

【野菜部会】 マルイへの午後便、マルナカへの週2便の試行は一定の効果あり。計画生産、計画出荷の取り組みとして、玉ねぎと金時草(水前寺菜)を推進していく。

【生産者協議会】 軽トラ市の定期開催(年間で複数回)を部会等で検討する。公社に対して、ネット通販の積極的な取り組みの要望あり。

公社と連携した取り組み

【穀物部会関係】 大山町産大豆100%の丸大豆醤油造りが決まりました。これから2年余りの熟成期間を経て、公社オリジナル醤油が出来上がります。また、その醤油を使ったオリジナル加工品づくりにも取り組みます。

大山町産特別栽培米こしひかりのオリジナル袋のデザインが決まりました。大山に生きる人の力、大山に生きる自然の力を一粒のお米に凝縮しました。イラストは自然の力を「太陽、大山、日本海、お米」で描き、大山町の人のぬくもりが出るように手描きで温もり感を表現しました。全国に向けて大山町の「力」と「温もり」を発信していきます。

【野菜部会関係】 加工場で大山町産加工用トマトを平成26年は約2tの買取りを行ないました。平成27年度も加工場で買取りします。

白ねぎグループも『大山の純白ねぎ』という名前でオリジナルテープを作成し、出荷します。出荷前から外食産業から仲卸し業者に「欲しい」という依頼が来ています。

特裁米グループ同様、独自のグループ基準(ルール)を作り出荷いたします。

野菜部会より昨年より提案のあった販路拡大に向けての取組みのひとつとして岡山マルナカへの出荷が年内で計12回の増便がありました。野菜部会主導の声ということもあり、一回の出荷額が多いときで20万円を超えるほどの量になりました。

大山恵みの里売場の商品の品質維持、向上の為に、唯一値引き販売をしていたホープタウン店の値引き販売を止めました。これも野菜部会からの提案から実現しました。品質も良くなり、お客様から「まずは恵みの里コーナーを見てから買い物をする」という声も頂きました。



【加工部会関係】

加工食品衛生講習会は加工品部会が実施を提案し、実現した講習会です。野菜の生産↓出荷↓加工へとつながる循環型販売に実現に向けての大きな一歩です。

◆道の駅から◆

昨年度のふるさと納税の取扱金額は年間120万円ほどでしたが、今年度は3か月を残してすでに1,700万円を売り上げ、年間で2,000万円に迫る勢いです。

国の制度がこれまで以上に充実する見通しですので、更なる販売拡大を目指します。現在、道の駅からの商品提供は16品目ですが、来年度は加工品を中心に野菜・果物等含め40品目程度まで増やしたいと考えています。

大山町のふるさと納税の人気商品を紹介いたします。

- 納税額1万円〜5万円
- ①大山ルビー豚焼肉セット
- ②ハーブチキンセット
- ③特別栽培米10Kg(白米)
- ④ご当地カレーセット
- 納税額5千円〜1万円
- ①大山のパウンドケーキ
- ②陣構のお茶セット

なお、ルビー豚及びハーブチキンは9月以降、商品が欠品状態です。

【会員の横顔】

No5

二宮聖貴さん（31歳 楽仙）

「自然薯を町の特産品に」

高校を卒業してから大阪でサラリーマンをしていましたが、実家の農業を継ぐために3年前にUターンしました。両親の意向が強かったわけではありませんが、長男であるという自覚が実家に帰ることを決心した大きな理由でした。

現在の経営の柱は芝が7割です。昨年から新規作物として自然薯栽培に取り組んでいます。自然薯に興味を持った理由は、都会育ちの妻が自然薯を食べたいと言いつつ出たので、近くの山から掘ってきて食べたところ、大変おいしいと喜んでくれたことです。それなら、自然薯を栽培できないかと考え、ネットなどから情報を得て、試行錯誤しながら栽培技術を勉強しました。

今年は5アールで約1,200本を収穫する予定です。今年の11月には大江山麓自然薯組合を三人の生産者で立ち上げ、進物用や加工商品として販売していきたいと考えています。販路は、大山恵みの里公社やアスパル以外にもイオンや高島屋などで試食販売を行い、販売の定着・拡大を図っていきます。

今後は、六次産業化での加工品づくりやネット通販にも取り組む予定です。将来の目標としては、芝栽培だけでなく自然薯

も栽培面積を拡大し、大山町の特産品として定着させたいと考えています。“大山の自然薯”おもしろいイメージです。



価値に見合った値段で売っていききたいので、販路拡大に向け、公社にも力を貸してほしいと思います。

スタッフの皆さんにも、畑に足を運んでもらい、我々の取り組みを理解してほしいと思います。

◇ ◇ ◇

学校給食交流会に

参加しませんか。

◆名和小学校 1月27日(火)

◆大山小学校 1月28日(水)

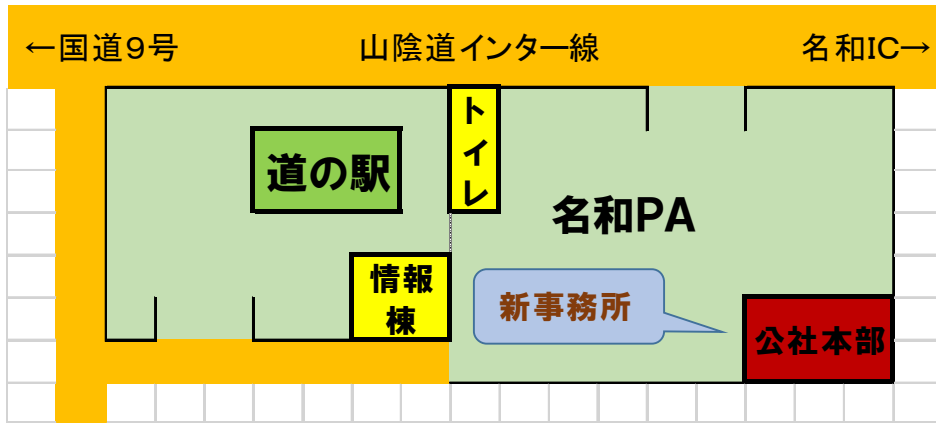
◆費用 1食278円

希望者は、公社本部(担当:

高根)までご連絡ください。

☎0859-54-6600





■公社本部から・・・
 公社本部事務所は、Aコープ名和店2階から左図の場所へ移転しました。
 【新住所】
 〒689-3212
 大山町名和919-12
 電話とファックス番号は従来通りです。

【お知らせ】

加工食品安全講習会を開催します

対象者は、町内で加工食品を製造・販売されているか、今後予定している個人・グループ・事業者の方で、これまでに実施した講習会に参加されていない方です。大山恵みの里公社に加工品を出荷(委託)される方は、必ず受講して下さい。日程は左記のとおりで、いずれかの日程に1回出席してください。

◆日時
 1月21日(水)
 2月18日(水)
 3月18日(水)
 いずれも・・・

- ① 昼の部 13:30 ~
- ② 夜の部 19:00 ~

◆会場 名和公民館
 ◆内容 食中毒・異物混入防止
 ◆食品表示の留意点

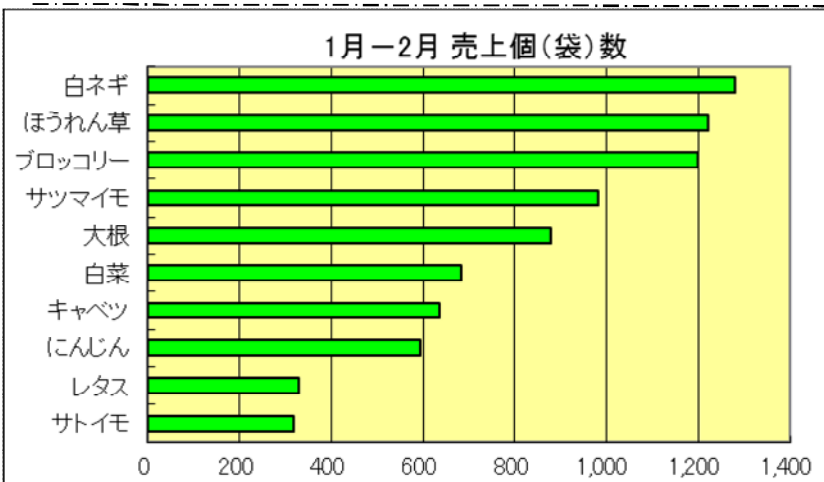
参加費は無料ですが、事前申込みが必要です。

【申込み・問合せ先】

【担当:金田】
 ☎0896-54-66000

■売れ筋野菜ランキング

1・2月(2ヶ月分)の道の駅とみくりや市の売れ筋商品(単位は数量)のトップテンです。
 この時期は、11・12月と同様に大山町特産の白ネギやブロッコリーがトップを占めます。その他も、大根や白菜などの定番の野菜がよく売れています。
 冬場は、観光客の減少により道の駅利用者も少なくなり、ますので、販売数量もピークの夏場より3、4割は減少します。



■事務局から

平成27年度年会費について
 大山恵みの里会(生産者会員組織)の年会費千円の納期は平成27年1月31日です。

◆現金納付をご希望の方は、公社本部へご持参ください。

※なお、公社本部事務所は、12月1日に道の駅名和パークینگエリア内のプレハブ平屋建物に移転しています。

◆口座振替の手続きをされている方は、営業日の関係で2月2日(月)に引落になります。また口座振替を希望されます方は、1月16日(金)までに口座振替依頼書を公社本部へ提出してください。振替依頼用紙は、公社本部とJA各支所にあります。

◆振込をご希望の方は、金融機関から左記の口座に入金してください。
 鳥取西部農協 名和支所 普通 0018532 大山恵みの里会会長米本隆記(だいせんめぐみのさとかい かいちようよねもとたかよし)

編集後記

月日の経つのは早いもので、またひとつ歳をとることになりました。新しい年も健康で頑張りたいものです。会員の皆様、どうぞ良い年をお迎えください。(さ)